



第210回島原市民文化講座
島原文化連盟創立70周年記念
島原城薪能特別公開講座



「能・狂言の魅力」

私たちが暮らす島原に江戸時代から脈々と受け継がれる‘能や狂言’の伝統文化にふれてみませんか？

今年度はひさしぶりに観世流による演能となり「島原城薪能」も心機一転！

その出演者のプロの能楽師の先生方から、身近に「能や狂言の魅力」について語っていただき、素晴らしい日本の文化を、より身近に親しんでいただければと企画しました。

おいしいお茶やお菓子も楽しみながら、あらためて島原の歴史と文化の豊かさを味わってみませんか？

・ 壺の巻 午後7時～7時半

島原文化茶話会～島原城薪能の歴史と魅力を語ろう！

‘島原湧水仕立ての新茶と季節のお菓子’を楽しみながら・・・

—お話 岩永泰賢さん（島原城薪能振興会事務局長）—

・ 式の巻 午後7時半～午後9時

島原城薪能公開講座 「能・狂言の魅力」

* 講師 馬野正基（観世流 能楽師）

野村万禄（和泉流 能楽師）

日本が世界に誇る伝統芸能「能楽」は舞踏と音楽と演劇が一体となった総合芸術で、江戸時代には幕府の式楽（儀礼用の演劇）となりました。島原城の能舞台でも藩主が盛んに能を催し領民とともに楽しんだという歴史もあり、島原藩の記録を所蔵する「肥前島原松平文庫」にも多くの能や狂言の謡本などが伝えられています。

またその伝統を継承するために昭和58年からは毎年秋に「島原城薪能」が開催され、今年は34回目の開催になります。平成16年からは「島原子ども狂言」もその舞台で発表し、島原の歴史と文化を島原の子どもたちで継承しています。

* 日時

6月21日 (火) 午後7時～午後9時

tipis

* 会場 森岳公民館大木一ル * お問合せ 0957-68-5473(島原市教育委員会社会教育課)

* 主催 島原市教育委員会 島原文化連盟 島原城薪能振興会 肥前島原子ども狂言協力会



天守閣を背景にした島原城薪能の舞台



肥前島原子ども狂言



薪の灯に照らされる能舞台

◆第34回島原城薪能について◆

- 島原文化連盟創立70周年—
- 雲仙普賢岳噴火災害25周年—
- 肥前島原子ども狂言島原半島文化賞受賞記念—

*日時 平成28年10月15日(土)
午後4時開場
午後5時始曲 午後8時45分終曲

*会場 島原城天守閣前広場
(雨天時・島原文化会館)

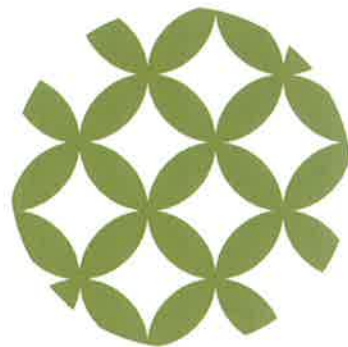


◆今年度の演目◆



<第一部>しまばら狂言・肥前島原子ども狂言
—神事・火入れの儀—
<第二部>観世流能

- 観世流舞囃子「菊慈童」
- 観世流仕舞「笠之段」
- 和泉流狂言「樋の酒」
- 観世流能「養老」



◆講師プロフィール◆

<馬野正基(うまのまさき)さんプロフィール>



観世流の能楽師。1965年6月24日生 京都市の山科に生まれる。観世流シテ方馬野義男の長男。

東京芸術大学邦楽科能楽専攻卒業。東京都在住。1989年 鏡仙会に入門。父及び河村隆司・八世観世鏡之丞・九世観世鏡之丞に師事。

3歳のとき『老松キリ』の仕舞で初舞台、7歳で初シテ『猩々』、1995年『猩乱』、1996年『石橋』2002年『道成寺』。2005年『清経恋之音取』を抜く。

2007年、大蔵流狂言方の山本泰太郎・則孝、藤田流笛方竹市学らと「三聲会」を結成し『望月』を抜く 新作・復曲能や映画、海外公演にも多数参加 華諷会主催

<野村万禄(のむらまんろく)さんプロフィール>



1966年 東京に生まれる。故・野村万蔵(芸術院会員・人間国宝)の孫。

伯父の初世野村萬(人間国宝)に師事。1990年東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業。2000年 二世野村万禄襲名。野村万蔵家別家を興す。

現在、福岡在住。国内外において数多くの狂言公演を行う傍ら、九州各地に稽古場を開設。一般にも広く門戸を開き狂言の普及と発展に努めている。

またクラシックアンサンブルやピアノとの共演など幅広く活躍中。落語とのコラボも話題となっている。社団法人能楽協会九州三役会所属。重要無形文化財総合指定保持者。平成22年度福岡県文化賞【奨励部門】受賞。